

着任から5年目に向けて



金沢市ものづくりコーディネーター

前川 幸次

会報第28号(令和2年3月)～第31号(令和3年9月)の巻頭には連続して新型コロナウイルスの話題が取り上げられてきました。令和3年12月に訪問した安原工業団地の企業ではコロナの第5波が終息して10月頃から多忙になってきたようで、令和4年年頭には安原工業団地協同組合および同町会の新年懇親会が盛大に開催されました。しかし、本稿の依頼があった1月下旬から新型コロナウイルス・オミクロン株による第6波がこれまで以上の猛威を振るっており、まん延防止等重点措置が適用されています。感染対策はせざるを得ないですが第6波の影響が安原工業団地各社の事業にまで及ばないことを願う次第です。

さて、平成30年4月に私は金沢市ものづくりアドバイザーに着任し、平成31年4月から職名変更で金沢市ものづくりコーディネーターを務めています。着任から5年目を迎えるに当たって、4年間の2件の業務を紹介しつつお願いを会報「りくつなあ〜」への寄稿とします。

まず、安原工業団地には約200の企業があるためその一部でしかありませんが、金沢市商工業振興課の職員と一緒に訪問させていただきました。その際に本務となる技術相談等を受けた例は僅少ですが各社の事業内容を知ることができました。最初の2年間で約50社を訪問しましたが、3年目(令和2年)からはコロナ禍のため会社訪問を自粛し、ほぼ停止状態となっています。これまでの訪問で、多くの企業は設備と技術を生かしたものづくりの受注製造を行っており、自社製品の開発や新技術の導入にまで手が廻らないという印象を受けました。また、自社ではできない加工については工業団地内で外注するお付き合い(ネットワーク)もあるようで、ものづくりコーディネーターの出番がないのは工業団地の良いところと言えますが、金沢市異業種研修会館には館長(総合アドバイザー)と私(ものづくりコーディネーター)が居ますので製品開発の補助金や情報・技術等の相談が必要な場合には是非お立ち寄り下さい。

次に、令和元年から始まった“ものづくり実践塾”では、3名のチーム(製品開発に精通したデザイナー、弁理士と私)が主にBtoCの自社製品開発に取り組む企業に伴走しながら支援します。主に受注製造で多忙な社業の傍ら実質7ヶ月でBtoCの製品を生み出すのは容易ではありませんが、本年度を含む3年間に9社が参加し、安原工業団地からは2社の参加実績があります。“ものづくり実践塾”では販路を見据えての製品開発のアドバイスや意見交換を行います。同塾の修了後に店頭の商品とするには営業力も必要なことから、これまでの参加企業は主にECサイト等での販売になっています。最近、“子供にも誇れる、地図に載る仕事。建設業の魅力”というCMを視ますが、店頭に並ぶBtoCの商品はそれを製造した社員のモチベーションにもなると思われますので、“ものづくり実践塾”への参加を是非ご検討下さい。

最後に、新型コロナウイルス第6波の早期終息と安原工業団地会員企業の益々の発展を祈念します。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 32

令和4年3月1日発行

2022.3
第32号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

令和4年新年会

令和4年1月5日(水)、安原工業団地協同組合と町会の合同新年会が、ホテル日航金沢にて、54名の参加で開催されました。開会に先立ちオープニングにBGMとして蓄音機でのレコード演奏があり、曲目は「ムーンライトセレナーデ」、古き良き時代にタイムスリップした様でした。



米澤卓也理事長と羽野芳康町会長から年頭の挨拶の後、来賓の方々の紹介があり、山野之義金沢市長(時の人)より祝辞、下沢佳充石川県議会議員より新年の挨拶を頂き、続いて塚脇孝司安原地区町会連合会長による乾杯のご発声で宴に移りました。

昨年は新型コロナウイルス感染症のため中止でしたが、今年は会場も感染対策をされ、マスクに消毒、アクリルパーテーション、お酒は注いで歩かない静かな宴会となりました。

アトラクションとして冒頭にありましたが、金沢市蓄音器館館長の八日市屋典之様より、蓄音器の解説をいただき数曲のレコード演奏に耳を傾けました。

楽しい時間は早く過ぎ、笠井正博次期町会長の中締めでお開きとなりました。組合、町会の皆様にはコロナに負けずに今年も1年頑張らしましょう。

米澤理事長 中小企業庁長官表彰受賞

米澤卓也理事長は、全国中小企業団体中央会の中央会功労者として中小企業庁長官表彰を受賞されました。石川県中小企業団体中央会の理事及び企画委員を10年以上の長きにわたり務められた実績が認められたもので、表彰式は令和3年11月5日(金)、ホテルニューオータニ東京で、全国中小企業団体中央会の創立65周年記念式典に合わせ開催されました。

おめでとうございます。今後ともご活躍され、中小企業及び組合の発展に貢献して下さいようお願い申し上げます。



青年部20周年祝賀会



令和3年11月6日(土)に安原工業団地協同組合青年部20周年祝賀会が金沢東急ホテルで開催されました。米澤卓也理事長、安村義昭事務局長、谷村達夫初代青年部長を来賓に迎え、開催しました。

オープニングは、芸妓さんのご祝儀舞で華やかに始まり、横田義尾青年部長の挨拶に続き、安原工業団地協同組合米澤卓也理事長の挨拶、安原工業団地協同組合安村義昭事務局長の乾杯の後、懇親会が始まりました。懇親会では、再び、芸妓さんの唄や踊り、お座敷遊びなど楽しい時間を過ごせました。青年部独自の企画のスライドショーでは、青年部の20年間の歴史やコロナ禍でやむを得ず参加できなかった歴代部長からお祝いのコメントを頂き、参加者は皆、スクリーンに釘付けとなりました。

また、同日行われたゴルフ大会の表彰式もあつたりと青年部らしい楽しく和気あいあいとした会となりました。

最後に、谷村達夫初代青年部長の中締めでお開きになりました。

これからも、悩みや不安を相談しあえる同年代の仲間同士、微力ではありますが安原工業団地が発展できるよう青年部の活動を続けてまいります。



文化講演会 ～落語寄席～

当組合の文化講演会が、令和3年11月26日(金)金沢市異業種研修会館において、組合員の他に安原地区の各種団体の方々を加え51名の参加で開催されました。

コロナ禍で昨年は中止となり、2年ぶりの開催となりました。

出演者として石川県住みます芸人の月亭方気氏を迎え落語を披露して頂きました。

当日のお客様の顔を見てお題を決めるというユニークな方法でテンポの良い落語に会場は笑いに包まれました。

コロナで毎日うつうつと過ごす中、ホッとしたりと時でした。



健康講座を開催



令和3年10月29日(金)金沢市異業種研修会館において、石川産業保健総合支援センター産業保健相談員・金沢医科大学病院教授森河裕子氏を講師に迎え、「ウィズコロナにおける心とからだの健康維持」というテーマで健康講座を開催しました。

今年は、コロナ禍の中なのでZoomを利用したオンライン配信も行い23名(Zoom 1人)の参加がありました。

森河先生は、事例を交えながら、やわらかい語り口でコロナ禍の中での心と身体の健康について講演されました。いまからでも実践できることも教えていただいたので、明日から早速実践してみたいと思います。

企業経営動向に関するアンケート調査報告 ～景気はこのところ持ち直しの動きが見られる～

毎年恒例の組合員全社の経営動向調査のアンケート結果が集計されました。

1月の政府の月例経済報告では「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。」と景況判断を据えています。

組合員176社のうち、103社の回答があり、回収率は58.5%となりました。

前年度調査と比較して「売上高」増加が35%(前年度6.09%)と増加し、「採算性」悪化は27%(前年度56.64%)の回答が減少、このことから、組合企業の業況判断は持ち直しの動きが伺えます。

また、「販売価格」上昇が21.78%(前年度3.60%)で「仕入価格」上昇が72%(前年度23.42%)と大幅に増え、販売する時の価格も若干あがったが、仕入れ価格がかなり高いので利益が圧迫され、今後の動向に注意が必要といえるのでしょうか。

組合員皆様にご協力いただいたことに感謝するとともに、貴重なご意見を今後の参考として組合活動を進めていきたいと思っております。

邦和建设(株)より 空気発電機寄贈!!

9月30日(木)邦和建设(株)嶋島信太郎社長より、組合に災害時、非常時の電源確保として空気発電機一式の寄贈を受けました。

この空気発電機は非常時に空気と反応するだけで大容量の電気を発電し供給も出来る優れものでLED照明、スマホ等、テレビ、ラジオ、パソコンなどの充電もできるということです。

ありがたく使わせて頂きます。ありがとうございました。



青年部 活動報告

9月5日(日)

「第41回ソフトボール大会」

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第41回ソフトボール大会が行われる予定でしたが、コロナ禍による厳しい状況により中止とさせていただきます。今年は青年部からもチームを作り参加する予定だっただけに中止の結果が残念でした。来年もチームを再結成し参加したいと考えています。

9月20日(月・祝)

「第11回安原工業団地協同組合・町会合同ゴルフ大会」

ゴルフクラブ・ツインフィールズにおいてゴルフ大会が開催され運営のお手伝いをさせていただきました。10組38名が参加し、北陸ダイセキ株式会社の三島克也さんが優勝しました。



11月6日(土)

「安原工業団地協同組合青年部20周年事業」

青年部OBと現青年部との交流会を、午前中に片山津ゴルフ倶楽部西コースでゴルフコンペ、夕方から金沢東急ホテルにて懇親会を行う事業となりました。懇親会の来賓として安原工業団地協同組合理事長米澤卓也様、安原工業団地協同組合事務局長安村義昭様、初代青年部部長谷村達夫様をお迎えして、青年部の歴史を振り返りながらコロナ禍の中でのOB、現メンバー同士の交流に大いに盛り上がりを見せたと思います。

11月18日(休)

金沢市異業種研修会館にて、石川県企画振興部企画課主事、井村健吾氏を迎え、「いまさら聞けないSDGs」と題した講演を行いました。改めてSDGsの重要性が聞けた内容で自己啓発や社員さん向けの人材育成などの一環になったと思います。



1月15日(土)

「青年部新年会」

「仁志川」にて青年部14名が参加し新年会を開催しました。横田部長の挨拶に続き本保幹事の乾杯にて会を進め、コロナ禍での厳しい状況でも部員間の交流を深め、今後なお一層事業に参加してもらえる青年部活動にしていこうと、堅い結束を図りました。

3月12日(土)～13日(日)

「研修視察旅行」

例年、10月～11月に開催している研修視察旅行ですが、コロナ禍の厳しい状況が続く、視察も難しい為、研修旅行として3月12日(土)～13日(日)片山津温泉のかのや光楽苑へ行く予定です。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合員皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。コロナ禍の改善の先が不透明の中、来年度もコロナ対策を徹底し、可能な事業は試行錯誤し実施していきたいと考えています。

来年度もよろしくお願いたします。

女性部 活動報告

昨年に引き続きコロナウイルスの影響を受けて活動が減少してはいますが、感染対策を十分に優先させて行っております。

10月15日(金)

「第1回研修会」

金沢市異業種研修会館第1研修室にて、県出前講座で講師に長寿社会課主任主事の室谷信暁様をお招きし「認知症施策の推進」の講義を12名で受講しました。



女性にとっては身近で深刻な題材であるためか、質疑応答もいつになく活発でした。

11月13日(土)

「花いっぱい！飾花推進活動」

幹線道路のプランターに葉ボタンの植え替えをしました。お忙しい毎日の皆様のお目に留まり、季節を感じていただければ幸いです。

12月9日(休)

「中央会女性部活動(訪問事業)」

金沢市湯涌温泉にて金沢市湯涌温泉観光事業協同組合かたくり会さんの活動発表と、意見交換会が行われました。3名が参加しました。

湯涌特産のゆずの皮を使い「HIMURO(氷室)」という保湿効果の高い石鹸を開発・販売したり、季節ものの氷室饅頭を年間通して楽しめるように、1個に3色の色を施した氷室饅頭を販売するなど、地域をアピールする活動を聞くことが出来ました。



午前中は国立工芸館の視察で、企画展「十二の鷹」と明治の工芸を鑑賞しました。

12月17日(金)

「会員企業にシクラメンを」

毎年恒例となっております、会員各企業にクリスマス気分を味わっていただこうとシクラメンを配布しました。

2月18日(金)

「第2回研修会」

当初2月18日にヴィラ・グランディスウェディングリゾートにて、金沢市福増町出身のシンガーソングライター前川ヒロユキさんをお迎えしての予定でしたが、1月27日から3月6日まで石川県にまん延防止等重点措置が適応されたため3月以降に順延の予定となりました。

今年度もコロナウイルスでデルタ株やオミクロン株等、今までとは異なった状況となっておりますが引き続き感染防止に気を付けて、出来る活動を考えていきたいと思っております。

来年度もよろしくお願いたします。

あとがき

前回(2020年3月号)も新型コロナウイルス感染拡大の事を書きましたが、まさか2年後の今までコロナが猛威をふるっているとは…歴史的な驚異に直面し…しかし、企業は耐えねば次に繼がねばと努力の日々です。2022北京オリンピックの日本勢の頑張りと藤井五冠のすごさに元気をもらい、明るい未来を信じたい今日この頃です。(1)

発行責任者 米澤卓也
編集委員 岩上伸人、金谷尚次、笠井恵美子
田中泰、東山敦子、横田義尾
安村義昭、山口美枝子